

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ
 どよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2019年7月29日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
R952 6	レジオネラDNA 定性 <small>6B611-0000-061-883</small>	喀痰 1.0	X00 (ℓ)	凍結 (28日)	3~9	292 ※6	LAMP	陰性	重 他項目との重複依頼 は避けてください。 本検査方法ではコン タミネーションの影 響がより大きくなり ますので、検体採取 にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。

※6：微生物学的検査判断料

● レジオネラDNA 定性

レジオネラ症の迅速な診断と、早期治療にお役立てください。

レジオネラ・ニューモフィラ (*L. pneumophila*) は、自然界の淡水や土壌中に存在する細菌で、レジオネラ症における代表的な起炎菌の一つです。

レジオネラ症は、感染症法において4類感染症（全数報告対象）に分類されており、ヒトからヒトへの感染はなく、レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（気体中に浮遊する微小な液体または固体の粒子）を吸引したことにより感染し発症します。主な病型としては、重症型といわれる「レジオネラ肺炎」と一過性で自然に改善する「ポンティアック熱」に大別されます。

特に、レジオネラ肺炎は急激に進行し、重篤となることから死亡率が高いといわれており、その起炎菌の多くは*L. pneumophila* serogroup (SG) 1ですが、SG1以外の血清型や、その他のレジオネラ属菌による症例も少なくありません。

LAMP法を用いた本項目は、*L. pneumophila* SG1を含むレジオネラ属菌11種の検出が可能な検査です。

▼疾患との関連

レジオネラ症
レジオネラ肺炎

▼検査要項

検査項目名	レジオネラDNA 定性
項目コードNo.	R952 6
検体量	喀痰 1.0 mL
容器	X00 (ℓ) 滅菌喀痰採取容器
保存方法	必ず凍結保存してください
所要日数	3~9 日
検査方法	LAMP
基準値	陰性
検査実施料	292点 (「D023」微生物核酸同定・定量検査「5」)
判断料	150点 (微生物学的検査判断料)
備考	重 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

●参考文献

山口 恵三, 他: 医学と薬学 58 (4) : 565~571, 2007. (検査方法参考文献)

白坂 渉, 他: 医学と薬学 74 (6) : 705~709, 2017. (臨床的意義参考文献)